

平成 30 年度地域と共に創る放射線・防災教育推進事業／放射線教育・防災教育地区別研究協議会【県北地区】で講演しました(2018/8/20)

テーマ：福島県，放射線教育，防災教育

場所：屋内温水プール・多目的スタジオ「イコーゼ！」

8 月 20 日（月），福島県桑折町の屋内温水プール・多目的スタジオ「イコーゼ！」を会場に，平成 30 年度地域と共に創る放射線・防災教育推進事業／放射線教育・防災教育地区別研究協議会【県北地区】が開催され，佐藤健教授（情報管理・社会連携部門）と千田浩一教授（災害医学研究部門）が講演を行いました。主催は，福島県教育委員会であり，福島県北地域の学校で放射線教育・防災教育を担当している教員を中心に約 80 名が参加しました。研究協議会のプログラムは，以下の通りです。

- 開会行事
- 講義 1「本県の放射線教育・防災教育の実施状況と方向性」（福島県教育委員会）
- 防災教育推進協力校実践発表（福島市立佐倉小学校）
- 講義 2「青少年赤十字防災教育プログラムについて」（相馬市教育委員会ほか）
- 講義 3「そなえるふくしまノートの活用について」（福島県危機管理部危機管理課）
- 講演「福島県における防災教育と放射線教育の意義」
佐藤 健：福島県における防災教育の推進に向けて～石巻市・仙台市の実践事例を通して～
千田浩一：福島県における放射線教育の意義
- 研究協議
グループ別協議「各校の放射線教育・防災教育の事例紹介と実践上の課題」協議内容の共有
- 閉会行事
総括（佐藤 健・千田浩一）

佐藤健教授による講演では，石巻市および仙台市での復興教育／防災教育の実践事例をビデオで紹介しながら，地域に根ざした防災教育の実践にあたっては，教員を支援するための「地域の教育力」を発揮することが重要になることを述べました。千田浩一教授による講演では，東日本大震災の発生以降、放射線に関する正しい知識を身に着けるために開発された福島県民向けのパンフレットの開発過程とその内容の紹介や，福島での放射線教育の意義について述べました。

グループ別協議後の閉会行事では，佐藤健教授と千田浩一教授から福島県における今後の放射線教育・防災教育の普及と発展に対する激励と期待につて総括が行われました。



講義風景



千田教授による講演



協議会風景